

からだ・くらし・すこやかに

第183期

中間事業報告書

平成14年4月1日～平成14年9月30日



株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び
申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに第183期上半期(平成14年4月1日から平成
14年9月30日まで)の事業の概況をご報告申し上げます。

平成14年12月



取締役社長

岩野健次郎

営業の概況

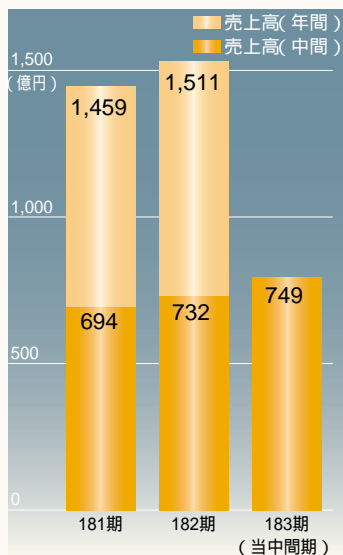
当上半期の日本経済は、世界同時株安や不良債権問題にかかる金融システム不安、デフレ不況が長期化し、企業倒産や高水準の失業率が続き、景気は底這いの状態で推移いたしました。

医薬品業界におきましては、医療保険制度の改革の一環として、本年4月に薬価基準の改定、さらに、健康保険法の改定が行われるなど、薬剤費を始めとする医療費抑制策の色彩が極めて強くなりました。また、市場が低迷するなかで、外資系企業の国内での営業攻勢も加速され、ますます厳しい状況で推移いたしました。

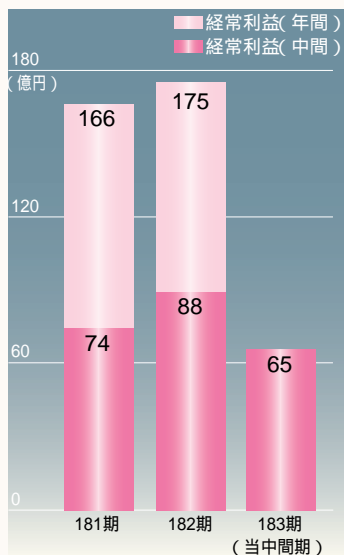
このような状況のもとで、当社は本年度を起点とする第2期中期経営計画を策定し、「質的経営の実現 - 存続に向けた革新への挑戦 -」を基本方針として、研究、開発及び営業の各部門が積極的、

効率的に連携し、製品のポテンシャルを最大限に引き出す戦略を推進しております。その結果、売上高は749億8百万円(前年同期比2.3%増)となりました。営業利益は、より少ない人とコストで最適な成果を追求し、生産性の飛躍的向上の実現を目指しましたが、薬価基準の改定、新発売品目にかかる初期販促費用の投入、研究開発費の増加により、59億2千4百万円(前年同期比23.2%減)となりました。経常利益は、工業所有権収入等の営業外収益が前年同期に比べ減少し、65億7千6百万円(前年同期比26.1%減)となりました。株安の影響による投資有価証券の評価損及び特別退職金を計上しましたが、前年同期に比べ特別損失は減少し、中間利益は34億5千9百万円(前年同期比12.4%減)となりました。

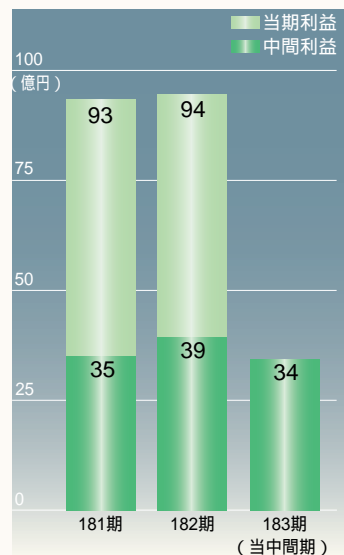
売上高の推移



経常利益の推移



当期(中間)利益の推移



部門別に売上の状況を見ますと、医薬品事業では、消化管運動促進剤「ガスマチン」、持続性抗アレルギー剤「エバステル」、末梢循環改善剤「プロレナル」、経口血糖降下剤「グリミクロン」、抗てんかん剤「エクセگران」、マクロライド系抗生物質製剤「クラリシッド」及び経腸栄養剤「エンシュア・リキッド」並びに当期において新発売いたしました広範囲経口抗菌薬「ガチフロ」、Hピロリ菌感染体内診断薬「ピロニック」及び吸入ステロイド喘息治療薬「キューパール」を中心に販売に努力いたしました。その結果、売上高は568億3千1百万円(前年同期比2.4%増)となりました。

動物関連事業では、犬糸状虫症予防剤「カルドメック」、抗菌性化学療法剤「ビクタス」等の動物用医薬品及び犬猫用特別療法食等を中心に販売に注力いたしました結果、売上高は125億5百万円(前年同期比6.2%増)となりました。

なお、本年8月に、11月1日より田辺製薬株式会社の動物薬事業を譲り受けることに合意いたしました。

その他の事業では、天然増粘安定剤「エコーガム」及び「グリオイド」、天然調味料「アジボール」等の食品添加物、工業薬品並びに研究検査用資材等の販売に努めましたが、市況が低迷し、売上高は55億7千1百万円(前年同期比6.7%減)となりました。

研究開発の状況につきましては、主力の医療用医薬品事業において、感染症疾患、血管系疾患、精神神経系疾患及び免疫炎症性疾患の4領域を重点探索領域としてとらえ、独創的で新しい価値をもつ医薬品の研究開発に取り組んでおります。躁病ほかの適応症を追加申請中であった抗てんかん剤「ハレリン」は本年9月に承認されました。現在、製造承認申請中のものとしては癌疼痛治療剤「オプノ内服液」があり、新投与経路追加の申請準備中のものとして2品目あります。また、糖尿病治療剤「AJ-9677」、糖尿病合

併症治療剤「AS-3201」、痴呆治療剤「AC-3933」などが国内外で臨床試験段階にあります。抗てんかん剤「エクセگران」のパーキンソン病に対する適応症追加試験も本年1月から開始しました。一方、レコルダッチ社(イタリア)が開発したカルシウム拮抗剤「ザニジップ」について本年5月に同社とライセンス契約を締結し、日本において株式会社ツムラと共同開発並びに並行販売することになりました。なお、本年6月には、当社の国際戦略製品である消化管運動促進剤「ガスマチン」が、社団法人発明協会から平成14年度全国発明表彰の発明賞を受賞いたしました。

動物用医薬品では、犬用感染症治療薬「ビクタス S MTクリーム」の猫への適応拡大及びブタ呼吸器感染症治療薬「ビクタス水溶散」を申請中です。

当期の中間配当金につきましては、1株につき5円とし、支払開始日を12月6日とさせていただきます。

なお、第182期定時株主総会で承認をいただきました自己株式取得については、9月に250万株を28億4千7百万円で取得いたしました。

以上、当上半期の業績の概況をご説明申しあげましたが、今後の医薬品業界は医療費抑制策が引き続き浸透するなかで、国際化が進み企業間競争がますます激化し、厳しい経営環境が続くものと予想されます。

当社といたしましては、本年度を起点とする第2期中期経営計画の基本方針である「質的経営の実現」に向けて、国内医薬品事業及び関連事業の収益性拡大、海外事業基盤の整備、生産性の向上を図り、経営基盤を確固たるものにし、業績の向上に邁進する所存であります。

株主の皆様におかれましては、今後とも格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

田辺製薬株式会
社の動物薬事業
を譲受

当社は平成14年8月、田辺製薬株式会社から動物薬事業を譲受することに合意しました。動物関連業界は再編・統合が活発化しており、今後当社がこの分野で勝ち残るためには従来の小動物分野の拡大化に加え、畜産・水産などの産業動物分野を充実させる必要があります。この合意により、当社は田辺製薬株式会社の畜産・水産市場の経営資源を利用し、産業動物分野への本格参入が可能となります。小動物分野へのシナジー効果も期待し、動物薬市場でのさらなる地位確立に注力します。

消化管運動促進剤
モサブリド
平成14年度
全国発明表彰受賞

当社の「クエン酸モサブリド」(商品名:「ガスモチン」)は、昨年の平成13年度近畿地方発明表彰に引き続き、社団法人発明協会より平成14年度全国発明表彰の発明賞を受賞しました。本剤は世界で初めてのセロトニン5-HT₄受容体に選択的に作用する消化管運動促進剤で、すぐれた消化管運動及び胃排出促進作用を有します。

なお、全国発明表彰は文部科学省、経済産業省、特許庁等の後援により発明者等を顕彰することで発明の奨励育成を図り、我が国科学技術の向上と産業の育成を目的としています。

ソリューション営業
スタート

厳しい市場競争に勝ち抜くため、当社では「営業の変革」を進めております。その一環として、MR(医薬情報担当者)のさらなる精鋭化を目指し本年4月から「ソリューション活動」を導入しました。本活動は医療関係者や患者さんのニーズを的確に掴み、共に問題を解決していく過程において長期的な信頼関係を構築することを目的としています。自社製品の情報提供を中心とした従来の営業活動に留まらず、顧客の視点に立った幅広い知識を提供することにより、自社製品の普及を図りたいと考えています。

新製品
ニュース

広範囲経口抗菌薬

指 要指

ガチフロ[®]錠100mg

平成14年6月発売



ガチフロ[®]錠100mgは、杏林製薬株式会社において開発された新規の構造を有するニューキノロン系抗菌剤です。本剤は、従来のニューキノロン系抗菌剤で課題とされていた肺炎球菌等の薬剤抵抗性の細菌に対しても強い作用を示す特徴があるとともに、また、従来のニューキノロン系抗菌剤の課題であった光毒性等の副作用の軽減も図られています。

本剤は1999年から、米国をはじめとする世界各国で感染症治療薬として処方されていますが、国内では開発元の杏林製薬株式会社との同一ブランドによる並行販売により、早期の市場浸透、市場拡大を図るとともに、各種感染症の治療に大きく貢献する存在となることが期待されます。

新製品 ニュース

吸入ステロイド喘息治療剤

(指 要指)

キュパール™ 50エアゾール
100エアゾール

平成14年8月発売



キュパール™は、喘息の維持療法に広く用いられているプロピオン酸ベクロメタゾン
を主薬とする定量噴霧式エアゾール剤です。本剤は3Mファーマシューティカルズ社
から導入され、既に世界24カ国で発売されています。噴射剤としてオゾン層を破壊す
るおそれのない代替フロン「HFA-134a」を使用しています。また、3Mファーマシュー
ティカルズ社の優れた製剤技術改良の結果、超微粒子エアゾール剤となり、既存のプ
ロピオン酸ベクロメタゾン定量噴霧式エアゾール剤の1日吸入量の半量で同等の効
果を示します。

シェリング・プラウ株式会社との並行販売により、早期の市場浸透、市場拡大を図る
とともに、気管支喘息治療とオゾン層の保護の両面にわたってより一層の貢献が期待
されます。

新製品 ニュース

ヘリコバクター・ピロリ感染診断用剤 (指) (要指) **ピロニック®錠100mg** 平成14年7月発売

ヘリコバクター・ピロリ(以下、ピロリ菌)感染は、消化性潰瘍の発症及び再発の大きな原因の一つであり、また、胃がんの発生要因に関与している可能性も注目されています。ピロリ菌感染を診断するには、現在「内視鏡を用いる方法」と「内視鏡を用いない方法」の大きく二つに分けられます。

ピロニック®錠100mgは、ピロリ菌感染を診断法のうち、内視鏡を用いない体内診断用の薬剤です。本剤の服用前後の呼気を採取し、その呼気を測定することにより胃内のピロリ菌感染を診断できます。



内視鏡を用いないため、患者さんの苦痛が少ない方法であり、また、「内視鏡を用いる方法」のように胃内の限られた数カ所から粘膜組織を採取して診断する方法でないために、胃粘膜全体におけるピロリ菌の感染診断が可能です。

本剤を用いた簡便で精度の高い診断法が、ヘリコバクター・ピロリの感染診断に貢献できるものと期待しています。

アルファ型天然ビタミンE剤

ピタフル®Eアルファ

平成14年9月発売



当社は本年9月から子会社のマルピー薬品株式会社を通じて、アルファ型天然ビタミンE剤のピタフルEアルファを新発売しました。

本剤は、天然ビタミンE(d-トコフェロール)、血行をよくするイノシトールヘキサニコチネート、自律神経中枢に作用する-オリザノールを中心にして、さらにビタミンB₁、B₂、B₆を配合したソフトカプセル剤です。

肩こり、冷え、手足のしびれなどの症状にお悩みの方におすすめの商品です。

貸借対照表

科目	(百万円)	
	前期 平成14年3月31日現在	当中間期 平成14年9月30日現在
資産の部		
流動資産	113,388	106,613
現金及び預金	22,567	18,501
受取手形	4,311	3,949
売掛金	56,893	51,981
有価証券	2,637	4,199
製品及び商品	12,074	13,539
半製品及び仕掛品	4,565	4,430
原材料及び貯蔵品	5,325	4,699
前払費用	1,399	1,740
短期債権	408	153
未収金	812	872
繰延税金資産	2,423	2,561
貸倒引当金	31	17
固定資産	66,630	70,871
有形固定資産	33,170	34,748
建物	16,700	17,168
構築物	668	653
機械及び装置	4,772	6,512
車両及び運搬具	25	40
工具、器具及び備品	1,656	2,009
土地	5,205	5,174
建設仮勘定	4,141	3,189
無形固定資産	1,421	1,305
ソフトウェア	1,336	1,223
その他の無形固定資産	85	81
投資等	32,038	34,817
投資有価証券	24,545	23,847
子会社株式	725	725
長期貸付金	1,661	1,571
長期前払費用	1,776	4,138
繰延税金資産	1,958	3,122
その他の投資等	1,633	1,674
貸倒引当金	262	262
資産合計	180,019	177,484

有形固定資産の減価償却累計額 44,561百万円 45,444百万円

科目	(百万円)	
	前期 平成14年3月31日現在	当中間期 平成14年9月30日現在
負債の部		
流動負債	45,249	53,776
支払手形	6,451	4,496
買掛金	22,174	21,701
1年以内に償還予定の転換社債	-	11,118
未払金	3,302	5,161
未払消費税等	671	169
未払費用	1,832	1,610
未払法人税等	4,884	3,790
預り金	1,010	929
賞与引当金	3,855	3,928
返品調整引当金	61	52
売上割戻引当金	1,004	819
固定負債	20,018	9,987
転換社債	11,118	-
退職給付引当金	8,445	9,515
役員退職慰労引当金	455	471
負債合計	65,268	63,763
資本の部		
資本金	13,444	13,444
資本剰余金	15,860	15,860
資本準備金	15,860	15,860
利益剰余金	83,539	86,001
利益準備金	3,033	3,033
特別償却準備金	8	6
固定資産圧縮積立金	75	75
別途積立金	70,110	77,710
当期(中間)未処分利益	10,313	5,176
(うち当期(中間)利益)	(9,470)	(3,459)
評価差額金	1,953	1,402
自己株式	46	2,986
資本合計	114,750	113,721
負債及び資本合計	180,019	177,484

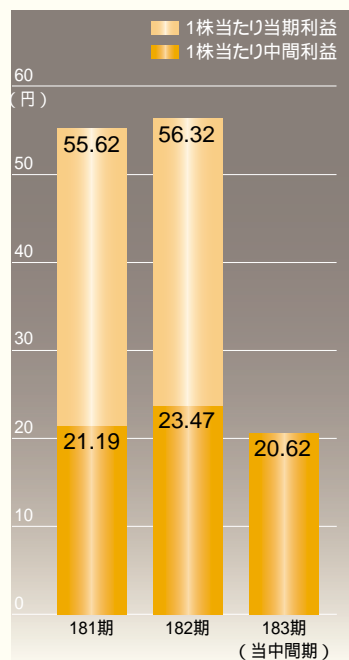
当中間期と比較を容易にするため、前期の貸借対照表の資本の部については、商法施行規則(平成14年4月1日施行)に準拠し、組替表示しております。

損益計算書

(百万円)

科目	前年中間期	当中間期
	自平成13年4月1日 至平成13年9月30日	自平成14年4月1日 至平成14年9月30日
営業損益の部		
営業収益	73,246	74,908
売上高	73,246	74,908
営業費用	65,534	68,983
売上原価	43,248	44,536
返品調整引当金戻入額	3	9
販売費及び一般管理費	22,289	24,457
営業利益	7,712	5,924
営業外損益の部		
営業外収益	2,091	1,611
受取利息及び配当金	916	838
雑収益	1,174	773
営業外費用	906	960
支払利息	151	96
雑損失	754	863
経常利益	8,897	6,576
特別損益の部		
特別利益	126	335
固定資産売却益	126	335
特別損失	1,804	423
投資有価証券評価損	1,304	302
特別退職金	—	120
貸倒引当金繰入額	500	—
税引前中間利益	7,219	6,488
法人税、住民税及び事業税	3,948	3,932
法人税等調整額	676	902
中間利益	3,947	3,459
前期繰越利益	1,557	1,716
中間未処分利益	5,504	5,176

1株当たり当期(中間)利益の推移



連結貸借対照表

(百万円)

科目	前期	当中間期
	平成14年3月31日現在	平成14年9月30日現在
資産の部		
流動資産	119,247	111,482
現金及び預金	23,971	19,582
受取手形及び売掛金	64,766	58,737
有価証券	2,648	4,210
たな卸資産	22,770	23,520
繰延税金資産	2,497	2,653
その他	2,697	2,861
貸倒引当金	104	84
固定資産	67,586	71,935
有形固定資産	33,637	35,225
建物及び構築物	17,381	17,833
機械装置及び運搬具	5,170	6,947
土地	5,205	5,174
建設仮勘定	4,141	3,189
その他	1,738	2,080
無形固定資産	1,458	1,336
投資その他の資産	32,491	35,373
投資有価証券	25,398	24,707
繰延税金資産	2,057	3,320
その他	5,324	7,632
貸倒引当金	289	288
資産合計	186,834	183,418

(百万円)

科目	前期	当中間期
	平成14年3月31日現在	平成14年9月30日現在
負債の部		
流動負債	49,783	57,679
支払手形及び買掛金	31,341	28,576
1年以内に償還予定の転換社債	-	11,118
未払法人税等	4,954	3,902
賞与引当金	4,074	4,137
返品調整引当金	61	52
売上割戻引当金	1,004	819
その他	8,346	9,073
固定負債	20,484	10,345
転換社債	11,118	-
退職給付引当金	8,878	9,843
役員退職慰労引当金	487	502
負債合計	70,267	68,024
少数株主持分	580	600
資本の部		
資本金	13,444	13,444
資本剰余金	15,860	15,860
利益剰余金	84,766	87,062
その他有価証券評価差額金	1,960	1,413
自己株式	46	2,986
資本合計	115,985	114,793
負債、少数株主持分及び資本合計	186,834	183,418

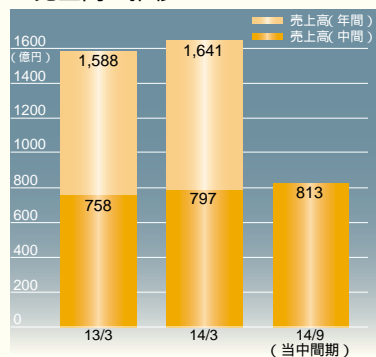
当中間期と比較を容易にするため、前期の連結貸借対照表の資本の部については、改正後の連結財務諸表規則に準拠し、組替表示しております。

連結損益計算書

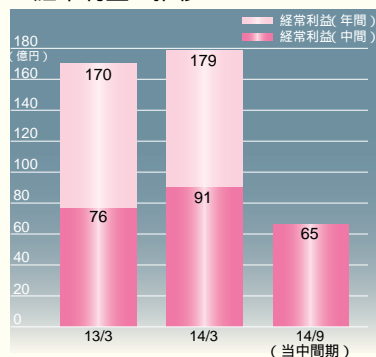
(百万円)

科目	前年中間期	当中間期
	自平成13年4月1日 至平成13年9月30日	自平成14年4月1日 至平成14年9月30日
売上高	79,716	81,337
売上原価	48,180	49,550
返品調整引当金戻入額	3	9
売上総利益	31,539	31,797
販売費及び一般管理費	23,467	25,694
営業利益	8,071	6,102
営業外収益	1,944	1,433
受取利息及び配当金	873	746
その他	1,071	686
営業外費用	909	971
支払利息	159	102
その他	750	868
経常利益	9,106	6,564
特別利益	126	335
固定資産売却益	126	335
特別損失	1,804	550
投資有価証券評価損	1,304	308
特別退職金	—	242
貸倒引当金繰入額	500	—
税金等調整前中間純利益	7,428	6,349
法人税、住民税及び事業税	4,098	4,045
法人税等調整額	712	1,024
少数株主利益	35	30
中間純利益	4,007	3,298

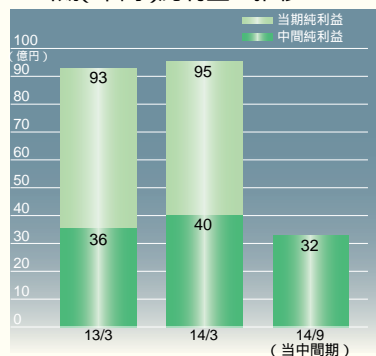
売上高の推移



経常利益の推移



当期(中間)純利益の推移



連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

科目	前年中間期	当中間期
	自平成13年4月1日 至平成13年9月30日	自平成14年4月1日 至平成14年9月30日
税金等調整前中間純利益	7,428	6,349
減価償却費	2,099	2,421
投資有価証券評価損	1,304	308
資産増減等	440	3,584
法人税等の支払額	6,234	5,097
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,038	7,567
有価証券の取得・売却	599	1,437
有形固定資産の取得による支出	2,369	3,109
投資有価証券の取得・売却	329	352
その他	298	2,688
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,802	4,711
配当金の支払額	723	973
転換社債の償還による支出	5,883	—
自己株式の増加額	1	2,940
その他	100	300
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,704	4,213
現金及び現金同等物の増減額	3,468	1,358
現金及び現金同等物の期首残高	25,013	23,933
現金及び現金同等物の中間期末残高	21,544	22,574

連結子会社

会社名	資本金	当社の議決権比率	主な事業内容
五協産業株式会社	100 百万円	52.48 %	食品添加物、化学製品、工業薬品等の販売及び輸出入
ニチエイ産業株式会社	10	100.00	自動車及び事務機器等のリース、不動産の賃貸
マルピー薬品株式会社	30	100.00	医薬品、衛生用品等の仕入及び販売
株式会社マルピー物流サービス	30	100.00	医薬品等の保管

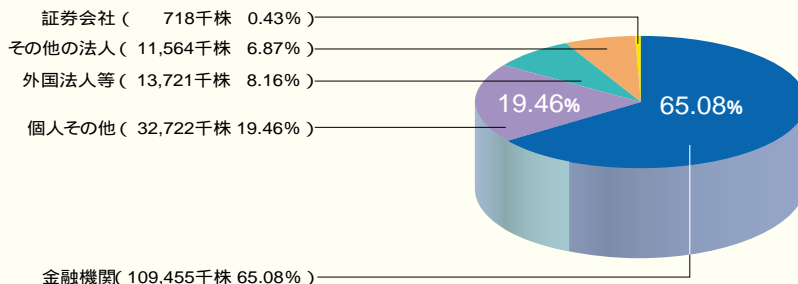
株式の状況

(平成14年9月30日現在)

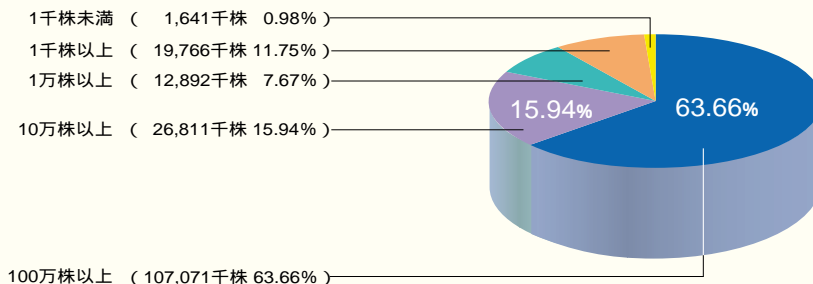
大株主	株主名	持株数	議決権比率
総株主の議決権の数 162,509個	日本生命保険相互会社	11,894千株	7.32%
	住友生命保険相互会社	8,249	5.08
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	8,161	5.02
	株式会社UFJ銀行	8,112	4.99
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	7,805	4.80
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	7,000	4.31
	UFJ信託銀行株式会社 (信託勘定A口)	6,153	3.79
	ニッセイ同和損害保険株式会社	5,928	3.65
	第一生命保険相互会社	4,648	2.86
	日興シティ信託銀行株式会社 (常代口)	2,770	1.70
計	70,720	43.52	

所有者別状況

発行済株式の総数
168,184,154株



所有株数別状況





本社ビル

会社概要(平成14年9月30日現在)

商号 大日本製菓株式会社
 会社設立 明治30年5月14日
 資本金 13,444,047,360円
 従業員数 2,332名(出向者70名を除く)
 本社 〒541-0045
 大阪市中央区道修町二丁目6番8号
 電話(06)6203-5321

役員一覧(平成14年9月30日現在)

代表取締役会長	渡守武 健	監査役(常勤)	村瀬 寛
代表取締役社長	宮武健次郎	監査役(常勤)	橋本 史智
執行役員		監査役	石井 通洋
取締役	藤田 尚	監査役	臼井 孝之
専務執行役員		執行役員	田村 順一
常務取締役	関根 豊	執行役員	水野 順一
常務執行役員		執行役員	徳田 賢司
取締役	井上 正	執行役員	廿日岩久典
常務執行役員	船倉 敏朗	執行役員	中村 康彦
執行役員		執行役員	三塩 晋作
取締役	下川 徳明	執行役員	岡本富士雄
執行役員		執行役員	木村 義穂
取締役	兼田 紘信		
執行役員			
取締役	澤山 忠弘		
執行役員			

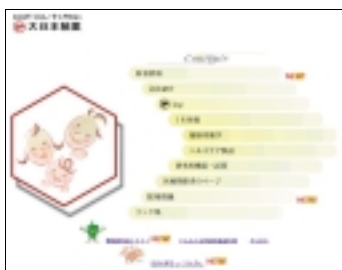
(注) 監査役 石井通洋及び臼井孝之は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役であります。

株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会開催時期	毎年6月
基準日 定時株主総会	毎年3月31日
	そのほか必要あるときはあらかじめ公告いたします。
利益配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日
公告掲載新聞	日本経済新聞
名義書換代理人	〒540-8639 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同 事務取扱場所	〒540-8639 大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(郵便物送付先)	〒183-8701 東京都府中市日綱町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	
(住所変更等用紙のご請求)	☎ 0120-175-417
(その他のご照会)	☎ 0120-176-417
(インターネット ホームページ URL)	http://www.sumitomotrust.co.jp/ STA/retail/service/daiko/index.html
同 取次所	住友信託銀行株式会社 全国各支店
上場証券取引所	東京、大阪、名古屋

事業所

東京支社	103-0023	東京都中央区日本橋本町二丁目2番5号	(03)3270-2011
札幌支店	060-0061	札幌市中央区南一条西六丁目4番地1	(011)281-6101
仙台支店	980-0804	仙台市青葉区大町二丁目4番14号	(022)221-2681
東京第1支店	103-0023	東京都中央区日本橋本町二丁目2番5号	(03)3270-2021
東京第2支店	103-0023	東京都中央区日本橋本町二丁目2番5号	(03)3270-2023
横浜支店	231-0012	横浜市中区相生町六丁目113番地	(045)641-5872
甲信越支店	103-0023	東京都中央区日本橋本町二丁目2番5号	(03)3270-2022
名古屋支店	460-0002	名古屋市中区丸の内二丁目1番8号	(052)201-3341
京都支店	604-8161	京都市中京区烏丸通三条下ル襷頭屋町595番地の3	(075)251-1351
大阪支店	541-0045	大阪市中央区道修町二丁目6番8号	(06)6203-6321
広島支店	730-0016	広島市中区鞆町2番16号	(082)224-0011
高松支店	760-0008	高松市中野町33番10号	(087)862-3888
福岡支店	812-0035	福岡市博多区中呉服町6番10号	(092)281-4531
大阪工場	553-0001	大阪市福島区海老江一丁目5番51号	(06)6454-8151
鈴鹿工場	513-0818	鈴鹿市安塚町1450番地	(0593)82-8951
総合研究所	564-0053	吹田市江の木町33番94号	(06)6337-5876



インターネットホームページURL
<http://www.dainippon-pharm.co.jp/>